

宮城県仙台市 スメーブジャパン(株)、山形県最上町 あたごこども園視察研修 平成28年9月28日～30日

総務文教委員会

微細藻類を活用した先端技術・幼保連携型認定こども園 ～現状と課題を学び整備に役立てるために～

宮城県仙台市にあるスメーブジャパン(株)は、微細藻の培養やバイオエネルギーへの転換・技術開発などを行っている会社です。微細藻が持つ栄養成分を栄養補助食品や高脂血症の医薬品、化粧品等の原料として生産・販売しており、計画的かつ段階的に収支バランスを考えた事業運営が重要とのことでありました。

本町での微細藻類を活用した新しい農業と新エネルギーの拠点とする整備事業は、耕作放棄地の新たな活用や微細藻のバイオ燃料が温暖化対策とエネルギー獲得の両方を実現できる重要な開発事業であり、微細藻類が持つ無限の可能性を確認できた研修でした。

山形県最上町のあたごこども園は、平成19年4月に開設され、東



取り組みについて学ぶ(山形県最上町)

北一の実績があります。幼保連携型教育では、幼児教育において、「同一教育内容で同一教育、足並みそろえて就学」とする方針が重要であるとのことでありました。

園の設備や環境、幼児の生活実態を見学させていただき、町の再生を加速化させる大きなきっかけとなることの命題が達成できると確信できた研修でした。

滋賀県大津市議会視察研修 平成28年11月16日～18日

産業厚生委員会

大津市議会業務継続計画 ～災害時の議会体制について学ぶ～

大津市議会では、大規模災害時に議会の機能維持を図るため、必要な組織体制や議員の行動基準を定めた「大津市議会業務継続計画」を策定しています。

行動方針として、議員は、大規模災害が発生した非常時においても、議会機能を維持するという役割を十分に認識し、地域活動などに従事する役割を担う



議会の役割について学ぶ(滋賀県大津市)

ものとする」と定めています。

本町においては、東日本大震災及び東京電力福島第一原子力発電所事故時、議会として立ち位置が明確になっていなかった苦い経験があります。

「災害時対応」策定の重要性を認識する上で、大変貴重な研修でした。

北海道栗山町議会広報広聴常任委員会視察研修 平成28年10月18日～20日

広報委員会

第30回町村議会広報全国コンクールで優良賞を受賞 ～編集姿勢や編集方法等について学ぶ～

北海道栗山町議会だよりの編集方法を学び、町民の意見を大いに取り上げており、内容を分かりやすく、親しまれやすい紙面づくりに努力されていると感じました。

当委員会としても「町民を代表する議会であることを常に自覚し、町政運営を監視するとともに評価すること」を重視しながら、議会だより作りに取り組みなければならぬと痛感しました。



編集方法や発行状況を学ぶ(北海道栗山町)

福島第一原子力発電所 状況視察



1号機の現況



建屋周辺の作業員のようす

12月1日に福島第一原子力発電所の視察を実施しました。

現在も事故発生から収束に向けて日々対応されていますが、議会として、実際に廃炉に向けての状況を確認し、より安全な体制で取り組むよう要望をしてきました。